

FURUKAWA 統合報告書2026

「古河機械金属株式会社 統合報告書2026」について

編集方針

古河機械金属グループは、2023年度発行分より従来の「アニュアルレポート(統合報告書)」と「サステナビリティ報告書」を統合し、「統合報告書」の名称で発刊しています。本報告書は、全てのステークホルダーの皆さまへ持続的な企業価値向上に向けた中長期戦略とサステナビリティへの考え方、方針等をより分かりやすくお伝えするなど内容の充実に努めています。また、本報告書に記載のない非財務情報(サステナビリティに係る活動報告、数値データ等)については、別途「古河機械金属グループ サステナビリティブック2026」をご覧ください。

なお、当社グループのウェブサイトでは、これらの報告書のほか、ニュースリリースや決算説明会資料等を通じて、適時・適正に情報を開示しています。

また、本報告書の作成に当たっては各部門と連携・協力して編集を行っており、代表取締役社長の承認により発行し、取締役会に報告しています。

参考にしたガイドライン

- ・IFRS 財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポートینگ・スタンダード」
- ・TCFD「気候変動関連財務情報開示タスクフォース最終報告書」
- ・(一財)日本規格協会「JIS Z 26000:2012 社会的責任に関する手引き(ISO26000:2010)」
- ・SASB「SASBスタンダード」

対象期間

2025年4月～2026年3月
(一部当該期間前後の活動も含む)

対象範囲

原則として古河機械金属(株)および当社グループを対象としています。

社名表示

古河機械金属(株): 当社グループの事業持株会社
古河機械金属グループ:
連結子会社31社、関連会社9社(2026年3月31日時点)
中核事業会社:
古河産機システムズ(株)、古河ロックドリル(株)、
古河ユニック(株)、古河メタルリソース(株)、
古河電子(株)、古河ケミカルズ(株)

発行時期

2026年9月



将来の見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている当社グループの計画、戦略および将来の見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社グループが現時点で合理的であると判断したものであり、様々なリスク・不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績はこれらの不確定な要素の変動により、開示した業績予想と大きく異なる可能性があります。

目次

グループ概要

「古河機械金属株式会社 統合報告書2026」について	1
150年のあゆみ	3
古河機械金属グループの概要・強み・特長	5
古河機械金属グループの価値創造プロセス	7
社会課題を解決する創造的解決力 ―価値創造の具体例―	9
企業理念・2035年ビジョン	13
経営基盤の確立から、価値創造の加速へ	15

事業戦略

トップメッセージ	17
財務担当取締役メッセージ	21
技術担当取締役メッセージ	25
事業戦略	27
イノベーション	37

サステナビリティ関連情報

古河機械金属グループのサステナビリティ	39
環境	45
社会	51
ガバナンス	59

財務関連情報

11年間の主要データ(連結)	79
連結財務諸表	83
経営者による財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況の分析	87
会社概要	97